

龍神村を楽しく学ぼう

2024辰年キャンペーンプロジェクト——学

「ふるい龍! 神のむら」
たつ



Illustration©Mizo.2025

(公社)龍神観光協会

〒645-0415 和歌山県田辺市龍神村西 376
電話 0739-78-2222 Fax.0739-78-8015





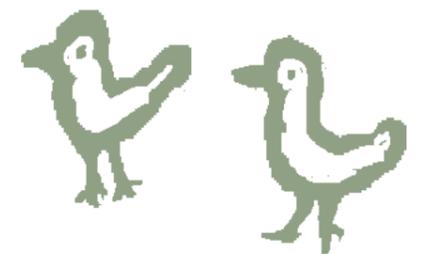
○ごあいさつ

龍神観光協会では12年に一度の辰(龍)年を祝しまして、この1年間得・食・学・催のジャンルに分けた様々なイベントを行って参りました。この冊子は、その中でも特に「学」にスポットを当てて作成しております。8月には子供の居場所づくり事業の一環として、村内の子供たちと龍のぼり(鯉のぼりを模したもの)を作成し、また12月に行われた学習発表会では龍神村に関することをテーマに各学校に取り組んでいただきました。この企画を通じて子供たちが学んだことを皆様にも紹介いたします。

令和7年2月28日
 龍神観光協会長 手谷 新一

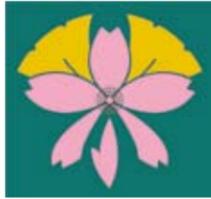
○もくじ

1	ごあいさつ
2~5	咲楽小学校
6~9	中山路小学校
10~13	上山路小学校
14~17	龍神小学校
18~21	龍神中学校
22~23	龍のぼり
24	あとがき



咲楽小学校

住所：田辺市龍神村福井 1024
設立年月：平成 18年 4月
全校児童数：22名



学校の自慢：全校児童 22名ですが、みんな仲良く、思いやりと笑顔があふれているのが自慢です。

＊咲楽小学校は、龍神そばと、龍神マッシュについて調べ、「さくらTV」と題して学習発表会でインタビュー形式で発表しました。

1 龍神そば



そば畑

「なぜ龍神でそば作りを始められたのでしょうか？」

▷「龍神に、温泉以外でじまんでできるものを作りたい、という思いと、使われなくなってしまった畑を活用したい、という思いから始めました。」



「そば作りを始めるときの苦労や、難しいことは何でしょうか？」

▷「はじめは、そばは水に弱いため、田んぼだったところでそば作りはできっこないとも言われました。雨に弱く、水に何日かひたってしまうと、そばが元気をなくしてしまいます。そばが育ってきても、シカに食べられてしまったり、イノシシに畑でどろ遊びをされたりして大変なこともあります。」



「どうやって作られているのですか？」

▷「そばは、畑に種をまいてから70日じゃくくらいでできます。そこから、コンバインの中でふるいにかけて実を集めたり、あらせんきや、とうみを使って石や中身のはいつていない、からだけのそばをとる作業をします。できあがった実は、こんな風に外側は茶色で朝顔のたねのような形をしています。中身は白っぽいのです。」



そば屋

「小さい実がたくさん！これがそばになるんですね。たくさんの機械や道具が使われていることも分かりました。これらの作業は何人くらいの人たちでされるのですか？」

▷「刈り取りから、乾燥させるなどの作業は5・6人ほど、手伝ってくれる人に来てもらいますが、それ以外の作業は私が1人でしています。だからこそ、機械の助けは欠かせません。」

「1人での作業は大変そうですね。畑はどれくらいあるのですか？」

▷「そば畑は、殿原や甲斐ノ川、龍神分校の近くの安井など、龍神村のあちこちに7カ所あります。殿原にあるのが一番大きい畑ですね。」



「このお店はいつからされているのですか？」

▷「2015年の5月からしています。」

「そば作りで苦労されていることや、難しいことはありますか？」

▷「そば作りは気温や湿度のえいきょうを受けるため、水の量を季節によって変えることが難しいです。また、配合をけんきゅうして、やわらかさ・かたさ・のどごしのバランスを整えたり、天気によって左右されるなか、今のおいしさを保ち続ける、変わらない味を作り続ける苦労はあります。」



龍神、ええとこやん-龍神そば・「和わ

日本三美人湯つながりの「龍神そば」

和歌山県
龍神温泉
ちかくの
そば粉

島根県
湯の川温泉
ちかくの
そば粉

群馬県
川中温泉
ちかくの
小麦粉

「おいしいそばを作り続けていくには、努力が必要なのですね。では、そばの材料は何でしょうか？和歌山で作られた以外のものも、使われているのですか？」

▷「そばはそば粉と小麦粉を混ぜてつくのですが、このそばは、温泉の三美人湯と関係させた『三美人湯そば』というこだわりがあります。龍神温泉がある、和歌山のここ龍神で作ったそば粉と、島根の、湯の川温泉ちかくで作られたそば粉、そして、群馬の、川中温泉ちかくで作られた小麦粉を混ぜて作っているのです。」

「こだわりの三美人湯そばですね！お客さんはどれくらい来られますか？」

▷「多い日は118人も人が来てくれました。平日より、土日はやっぱりお客さんが多いです。一年間では、7000～8000食ほど出ます。最近は、SNSを見て食べに来てくれるお客さんも多いです。」

「では最後に、『和わく』のお店をはじめ、今と昔で変わったところはあるですか？」

▷「昔と比べて、今は使う材料の値段がどんどん上がっていますね。また、作り手が年を取ってしまうので……。昔と比べると作業が段々と大変になってきています。これから、健康でお仕事ができるよう、それは今も昔も変わらず、頑張っていきたいです。」

「龍神マッシュさんのしいたけはとても大きいですが、育てるのにどれだけの時間がかかりますか？」

▷「小さいめが出てきてから、だいたい一週間ぐらいです。」

「育てるためには、どんな材料が必要なのでしょう？」

▷「きれいな水が必要ですね。そして、めがでて大きく育つためのかんきょうにするには、温度やしつ度の調整も必要です。寒い冬でも、ハウスの中は昼間21～23度の温度になるように、しつ度は70～80パーセントになるように調整します。しいたけのめが出る菌床は、おがこや栄養剤を使って作っています。」



「きれいなお水で、あんなに大きく育つんですね！菌床は、菌が全体にまわることで茶色から、白に色が変わることです。では、しゅうかくについてもお聞きします。一日にどれくらいの量のしいたけをしゅうかくしているのですか？」

▷「一日に30～40キログラムくらいしゅうかくします。一年間では、80トンぐらいになります。」

「たくさんしゅうかくされていることが分かりました。しゅうかくは、何人ぐらいでされるのですか？」

▷「一日3・4人でしゅうかくを行います。ハウスをかなりしてくれている人は7人いるのですが、シフトを組んで、交代でしゅうかくしてもらっています。」

「一番大きいしいたけで何センチメートルぐらいになるのでしょうか？」

▷「理想の大きさは7～10センチメートルくらいですが、大きかったら、人の顔ぐらいになるものもあります。」

「そんなに大きく育つしいたけもあるんですね。見てみたいです！では、育てるときの苦労を教えてくださいませんか？」

▷「どれだけていねいに育てても、芽が出ないときは大変です。菌床をひっくり返したり、いろんなしげきをあたえたりします。最近は、温だん化のえいきょうからか、めが出にくいときも増えてきました。」

○先生からのコメント

今回は、龍神そばと龍神マッシュについて、学習しました。実際に現地で作業の様子を見せていただき、苦労話等を聞かせて貰うことで、子供たちも興味を持って学習に取り組むことが出来ました。また、ふるさとを盛り上げていきたいという人たちの声を聞き、子供たちにも、ふるさとを愛する心が育まれたように感じました。

咲楽小学校 3・4年生担任 岡本



2 龍神マッシュ



中山路小学校

住所：田辺市龍神村柳瀬 1086-1
 設立年月：明治 10年 9月
 全校児童数：23名



学校の自慢：中山路小学校は、校庭にある「梅檀（せんだん）の木」という樹齢100年以上にもなる大木に見守られています。龍神地区では珍しくスクールバスが通っておらず、みんなとても元気に歩いて登校しています。休み時間には活発に外で遊び、授業になるとみんな前向きに学習に取り組んでいます。そんな「やる気いっぱいの子供たちの笑顔」こそが中山路小学校の自慢です。

*中山路小学校は、上御殿、龍神マッシュ、チェンソーアートジャパンを調べました。



調べた内容についてまとめ、パンフレットを作成しました。

1 上御殿



1

上御殿の歴史

- ・今から800年前に建てられた
- ・徳川家の別荘
- ・明治の初めから宿として営業が始まる（約138年前）
- ・現在の当主29代目



2

おすすめの季節

おすすめの季節…**春と秋**

春は黄緑や緑の葉っぱ 見られる！！
 秋は紅葉など…

3

おすすめの料理

主に山菜・川魚



夏はアユ冬はアマゴなどがおすすめ

鹿肉を作った料理



4

温泉の特徴

- ・炭酸ナトリウムが入っている
- ・無色、無臭 など…



5

温泉の効能

美容←特にすごい

肩こり、冷え性、神経痛、五十肩、関節痛、筋肉通、火傷、痛風、切り傷 など…

- ・お湯は毎回入れ替えている
- ・温泉のお湯は飲めるくらい綺麗だそうです
- ・実際に濡らしてみたらつるつるになった。



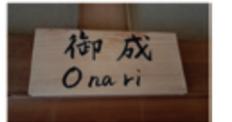
6

部屋

御成りの間…徳川が泊まっていた。

上御殿の部屋は中学生以上じゃないと泊まれない。

↑
**大事なものを壊すと
 いけないから**



7

仕事

従業員の数…11名
 40年働いている人もいる

「仕事で困ること」

→ない

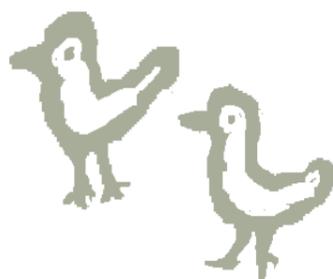
- ・外国人観光客は、日本語を事前に調べてから来てくれる。
- ・万が一困った時はスマホを使う。

8

まとめ

- ・上御殿は徳川家の別荘だった。
- ・おすすめの季節は、春と秋で、紅葉などが見られる。
- ・温泉は、美容効果の他に肩こりや冷え性などを直す効果がある。
- ・御成の間という部屋があり、徳川が泊まっていた。
- ・従業員は全員で11名で40年働いている人がいる。

2 龍神マッシュ



3 チェンソーアートジャパン

1 ○城所さんは、木で動物や龍、全国のキャラクターなどを作っている。



1 『龍神しいたけの特徴』 龍神しいたけ

①大きくて肉厚

龍神しいたけの方が大きい

ハンバーガーのお肉にもできるくらい肉厚



しいたけ



2 ②菌床栽培

しいたけ栽培は主に原木栽培で行う

臭みがなく食べやすい



2 1番緊張した作品…全部

丸太も人と同じように生きているし、300年ぐらいかけて成長してきたので「失敗は許されない」という気持ちがある



3 作品の作り方

昔
丸太を大体の大きさに切りだんだん形にしていく



最近
『シルエットカット』…丸太からいきなり形をくり抜く

3 『温度調節と湿度』

温度が10度まで芽がでない
湿度は75%ほど必要
温度調節も大事で水やりも大事

一つ間違えたとしいたけが育たないかも、



4 『しいたけの生産量』

しいたけをハウスの中で栽培し、収穫する。

1ハウス15～16kgのしいたけが収穫できる。

1ハウスに育てているしいたけは5000～6000個でその中の100個ほど廃棄になってしまう。



↑肉厚で約8cmほどの大きなしいたけ

4 作品を売る値段

チェンソーアートジャパンは
作品 約100万～200万で売っている
↑彫刻の世界では値いくことがある

一番安い作品…フクロウ 5000円



5 「大会について」

大会…大会側が渡した丸太



「技術力」だけでなく「デザイン力」も必要

5 『しいたけを育てる工夫、気をつけること』

- ・しいたけの袋に雑菌が入らないようにする
- ・しげきを与えないと出てこないしいたけを鉄の棒でたたく。

大きく肉厚なしいたけを作るのにかかせない！！



6 『しいたけの出荷先』

収穫されたしいたけは日本各地色々な場所に発送される。

南は沖縄から北は北海道まで日本各地に発送されている！

10～15cmのある大きなしいたけは丸井旅館に送られる。



6 まとめ

- ・チェンソーアートジャパンさんはいろいろな大会で優勝している。
- ・アートの値段は100万円から200万円するが、彫刻の世界では億することもある。
- ・チェンソーでアートを作るのはとても技術が必要。
- ・城所さんは木という資源をどれも一番とっていた。

○全体のまとめ
龍神の魅力は「自然」。
原木や龍神温泉、しいたけなどを全国的に有名な産業は、自然と大きく関わっている。
これからも龍神の自然を残していくために、この龍神の魅力を見つめ直し、自然を守る活動を進めていきたい。

○児童たちの感想

- ・龍神マッシュさんで栽培しているしいたけは、とても苦労してつくられているということが分かりました。
- ・龍神しいたけを収穫して、一般のしいたけより大きいことにとってもおどろきました。
- ・収穫体験をしてみて龍神マッシュさんは毎日収穫をしているのがすごいなと思いました。
- ・龍神マッシュさんでしいたけを育てる時に子育てと同じくらい大変ということが分かりました。
- ・しいたけをしゅうかくするとき大きくてきれいなしいたけをとるのがたのしかったです。

○先生からのコメント

中山路小学校は「再発見！龍神の魅力！」というテーマで自分たちの住んでいる龍神の魅力について考えました。観光業に関わる上御殿さんや農業に関わる龍神マッシュさん、林業に関わるチェンソーアートジャパンさんへ現地取材に行つて児童たちが導き出した答えは「自然」でした。今回の学習を通して、自分たちの住んでいる龍神の自然を大切に守っていかなければいけないと考える機会となりました。スライドやパンフレットなど、とてもがんばってまとめることができていました。

中山路小学校 5・6年担任 阪井

上山路小学校

住所：田辺市龍神村東 528
設立年月：平成 21年 4月
全校児童数：15名



学校の自慢：上山路小学校には、樹齢100年以上のとても大きなクスノキがあり、いつもわたしたちを見守ってくれています。

全校児童が15人のため、みんな仲良く協力しながら、行事活動をしています。また自分で漉いた手作りの卒業証書を受け取って卒業することも大きな自慢です。

*上山路小学校は、ドラゴンミュージアムと、龍神材を調べました。

ドラゴンミュージアムは、「龍」の造形物を中心に展示する施設です。龍の展示物は、全国から募集しており180点以上の作品が展示しています。

ドラゴンミュージアムの中には、ショップも併設されています。場所は、あんくるジョヴィ龍神店の前にあります。

施設の中には、ソフトクリームや龍神の特産品などがありました。

龍関係の置物やアクセサリも置いています。特産品では、龍神しいたけも置っていました。

オリジナルグッズのTシャツやガチャガチャもありました。

龍神ならではの品物がたくさんあります。

ドラゴンミュージアムの入館料は、中学生以上500円で、小学生250円です。

中に入ると様々な龍の展示物が見えます。

展示物は、龍を鉄で表現した作品や絵で表現した作品、墨で表現した作品などさまざまな形の龍の作品があります。

～龍神神社～



ドラゴンミュージアムの中には、神社もあります。名前は、「龍神神社」です。今年の10月にドラゴンミュージアムがリニューアルすると同時に建設されました。神社の中にある龍は、有名なチェンソーアートの方が作ったものです。今回のリニューアルオープンの目玉となる作品です。ぜひみなさんにも見てほしいです。

ドラゴンミュージアムの学習を通して

私は、絵を描くことが大好きです。だから、龍神と言えば「ドラゴンミュージアム」だと思いました。今回取材に行き、展示されている作品が違うものになっていました。全国から集まる作品を年に1回、審査をして1位から3位までを決めているそうです。その作品をじっくり見ることができました。「ドラゴンミュージアム」には、見るための作品だけでなく、龍神村の特産物も販売されていました。龍神村には、ドラゴンミュージアム以外にも魅力のある施設がまだまだあります。楽しそうな施設を見つけたら、まず、行ってみたいと思います。そして、家族や友達だけでなく、知ってもらいたい全国の人にも紹介できたらいいなと思います。その紹介が、私の作品を通してできるともっといいなと思いました。

5年 中村 美登

ドラゴンミュージアムは、「龍」の造形物を中心に展示する施設です。



施設の中には、ソフトクリームや、龍神の特産品などがありました。



ドラゴンミュージアムの入館料は、中学生以上500円で、小学生250円です。

中に入ると様々な龍の展示物が見えます。



ここで問題①

Q1 ドラゴンミュージアムにある置物は、どこからきているのでしょうか？

A：和歌山県 B：外国 C：全国各地 D：私の家

Q2 ドラゴンミュージアムは、なぜつくったのでしょうか？

A：龍関係のものを作りたかったから
B：小学生がお願いしたから
C：龍関係のもので商売をしたかったから
D：龍に命令されたから

Q3 ドラゴンミュージアムの後ろにある建物はなに？

A：ドラゴンボール B：ドラゴンアート C：ドラえもん D：ドラゴンパーク



答えは P13

問題②の答え

Q1：B
Q2：C
Q3：B



龍神の木は、
スギとヒノキ



龍神材の木は、スギとヒノキの2種類です。
切った木は、長さ3m、直径40cmで1本1000円ぐらいで売れます。
切った木は、龍神村森林組合の木材市場で売られています。
龍神村森林組合では、月に2回木材市場をしています。
原木祭りというイベントも1年に1回しているそうです。

龍神材からできている商品たち！

家具 おもちゃ まな板



G.WORKSさんで買えます！

龍神材の商品について
龍神材は、建物以外でも使われています。写真の通り、家具や子どもが使うおもちゃやまな板にも使われています。
龍神村内なら、ジーワークスで龍神材を使った商品が買えます。

*龍神材は、いろいろなところで大活躍！

今まで1番値段が高い木は、
1本700万円です！



今まで一番値段が高い木は、1本700万円です。
種類はスギの木で、値段が高い理由は、樹齢200年以上で、太く、年輪もきれいだったからです。



○龍神材の学習を通して

ぼくは、龍神村について、「自分がずっと住んでいるところだから、いろんなことを知っている」と思っていました。でも、森林組合に取材に行って、知らないことの方が多いと思いました。龍神材は、田辺市以外や和歌山県以外でも形を変えているいろいろなものになって使われているということがわかりました。
ぼくは毎日、龍神の山や木を見ているから、特別気にしたことはありませんでした。でも、龍神材にするには、たくさんの人の力が必要です。その大変なことをして、きれいな龍神材ができる。そんな龍神材をみんなの宝物だと思って大切にしたいと思いました。小学生だから、できることは少ないですが、たとえば、植樹などのボランティアに参加するとか、下草刈りに参加するとか、自分にできることから始めたいと思いました。
ぼくは、龍神が大好きです。だから、龍神材だけでなく龍神の自然も守っていきたくて思いました。

5年 古久保 響斗

龍神材の人気のひ・み・つ



何と言っても、見た目がきれい！

龍神材は、どんな建物に使われるかというと、家の材料に使われることが多いです。
龍神材が人気の理由は、見た目がキレイだからです。
龍神材は色合いが美しく、年輪が細やかなのが特徴です。

ここで問題②

Q1 森林組合で働いている人は、何人？

A：約40人 B：約80人 C：約120人 D：約160人

Q2 龍神材が使われていないのはどれ？

A：上山路小学校 B：行政局 C：先生の家 D：田辺市役所

Q3 龍神材が人気の理由は？

A：いいにおいだから B：見た目がきれいだから C：腐りにくいから D：木が丈夫だから

答えはP11

「龍神材」という名前は

龍神林業
開発会議



「龍神材」という名前は、龍神林業開発会議で決まりました。
平成22年に正式に「龍神材」として登録をしました。
写真は登録書になります。

龍神材は、どんな所で使われている？



龍神材がどんな所で使われているかというと……
龍神村の行政局
大人気！……木族館
ぼくたちの体育館
田辺市役所などです。

○先生からのコメント

上山路小学校の5年児童は総合の学習で、「ドラゴンミュージアム」と「龍神材」を調べました。実際にドラゴンミュージアムや龍神森林組合さんに取材をしました。取材した内容をタブレットを使い上手にまとめました。児童達は学習を通して、より一層龍神村の良さを知ることができました。

上山路小学校 5年生担任 小出

問題①の答え

Q1：C

Q2：A

Q3：D

龍神小学校

住所：田辺市龍神村湯ノ又 68
設立年月：大正 14年 6月
全校児童数：12名



学校の自慢：全校児童 10名あまりの極小規模校。自慢は全児童が兄弟姉妹のように仲が良いこと。地域の方の温かさと豊かな自然に包まれながら、互いを尊重し助け合える素敵な仲間です。



*龍神小学校は、皆瀬神社、小又川の吊り橋、ゆず夢について調べました。

① 皆瀬神社

15世紀後半に龍神村の統治者「龍神家」によって建てられました。龍神家の始祖は、12世紀末に龍神村に落ち延びた源頼氏です。6代目で土地の名を取り、龍神家を名乗り始めました。

皆瀬神社の祭神は、源氏が古くから戦神として崇めた「八幡大明神」です。現在、皆瀬神社には、村内の大小37の神社を合わせて祀られており、様々な神の力が集まるパワースポットとなっています。

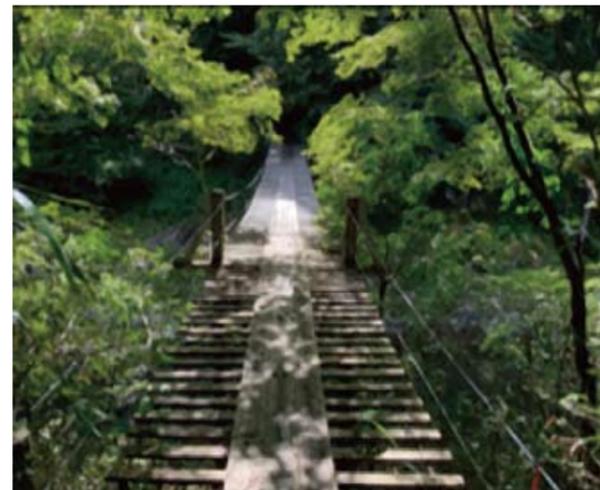
次に、神社の参拝方法を紹介します。

神社の参拝方法は、「再拝二拍手一拝」の作法が基本形です。拍手は柏の葉のように両手の指を揃えて打ち合わせるのので、一般にはかしわで手を打つなどといわれています。

では、本格的に教えていきましょう！

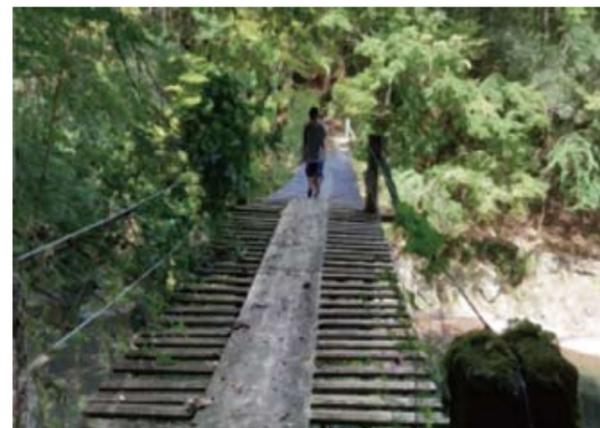
1. 神前に進み姿勢を正します。
2. 背中を平らにし、腰を90度に折り、拝をします。この時の拝は2回行います。
3. 胸の高さで両手を合わせ、右の指先を少し下にずらします。
4. 肩幅程度に両手を開き、2回打ちます。
5. 指先を揃えます。
6. 最後にもう1回拝をします。

皆さんも詳しく調べてみてください。



② 小又川の吊り橋 (小山橋)

ぼくたちがしょうかいするのは、小又川の吊り橋です。場所は、「天誅倉」と「るあんさん」の間くらいの坂の下に吊り橋があります。龍神小学校から、だいたい、10分くらいでつきます。吊り橋からは、きれいな川などの自然がたくさん見えます。吊り橋の下の川には、アマゴやアユなどいろいろな魚がいます。



この吊り橋は、みんなが怖がっている吊り橋です。その理由は、吊り橋に穴が空いているからです。また、ケーブルが錆びていて、今にも崩れそうな気がします。ここで私たちが渡って崩れないということを証明します。ぼろぼろだけど、意外と大丈夫です。が、怖い方は、やめておいたほうがいいですね。



吊り橋の長さを測るとなんと35メートルでした。奥の方に行くと川に降りられます。実際に川に降りてみたら、見てくださいこの景色。とてもきれいです。気に入る方はこの吊り橋に来てみてください。





③ ゆず夢 cafe

ここは、ゆず夢 cafe です。龍神村内や観光客から人気がある cafe です。早速店内に、お邪魔し経営しているお店の方に、色々質問していきたいと思います。



- Q a. いつからこのお店が開店しましたか？
 b. ゆず夢 cafeはどのような所ですか？
 c. 1日または、1年間に、何人ほどお客さんが来ますか？
 d. 一番人気がある食べ物は何かですか？

- A a. 2015年
 b. 気軽に立ち寄れるお店
 c. 忙しい時は一日100人ほど
 d. ソフトクリーム、カレー



ありがとうございました。皆さんにも必ず1度は来てみてほしいです。



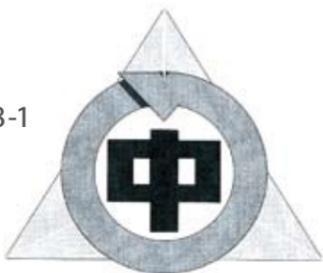
○先生のコメント

総合的な学習の時間に、校区内にある名所をPRする活動に取り組みました。実際に名所に足を運び、調べることで、日常生活では気づくことのできない発見がたくさんありました。内容をまとめるため、初めての動画編集に挑戦し、学習発表会では、その動画を保護者や地域の方に見てもらうことができました。

龍神小学校 5・6年生担任 和田

龍神中学校

住所：田辺市龍神村安井 1048-1
 設立年月：平成 19年 4月
 全校生徒数：49名



学校の自慢：本校の生徒は、真面目で素直、何事にも一生懸命に取り組む生徒たちで、地域の方々に支えられ見守られながら成長しています。特徴的な学校行事では、年3回の古紙古着回収や田んぼアート、宿泊体験学習等の体験活動に取り組み、豊かな心の育成に力を注いでいます。

*龍神中学校は、辰年にちなんで、龍のイラストを制作しました。



3年 寒川友飛



3年 上村藍右



ALT トーマス・ウーノッフ



1年 湯川結愛



2年 山本溪太



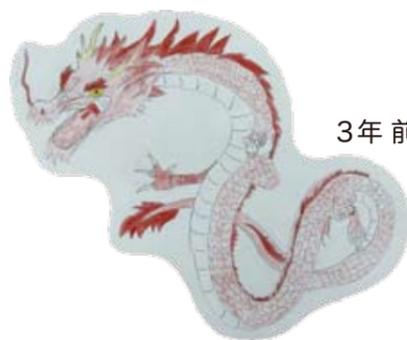
2年 松本蒼空



2年 阪口乃愛



2年 岸 瑛大



3年 前田大翔



2年 小川朋菜



1年 久保沙英



1年 寒川里菜



3年 中島玲介



2年 小杉來優音



3年 寒川愛斗



1年 古久保斗吾



2年 五味ゆりの



2年 寒川健志朗



1年 玉置莉絆



3年 向日響矢



3年 小川美優



2年 木村芙実



3年 水田旭登



3年 小澤 結



1年 深瀬元斗



3年 五味一真



2年 後藤愛依



3年 久保花梨



3年 湯川虹輝



3年 廣岡芭菜



2年 西下麗羽



3年 深瀬香乃



1年 黒田竜真



2年 中村 紬



3年 岡本昂大



1年 大垣内遥陽



2年 糸川和奏



3年 龍田 明



2年 小柳妃莉



2年 廣岡柁哉



2年 水田絢心



2年 渡瀬唯菜



1年 原 輝悠



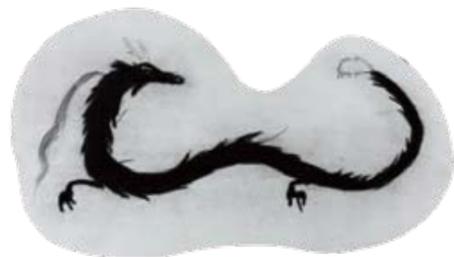
1年 深瀬心優歩



1年 古久保陽花



1年 山本愛哩



1年 古久保凜音



2年 松本夏希



○先生からのコメント

みなさんは龍にであったことがありますか？
こんな姿かなあ。もうすでに知っているかも。
と、それぞれの思いを込めた龍が集まりました。

龍神中学校 美術担当 上田



日高川にかかる吊り橋に設置され、宙を舞う11匹の龍のぼりたち

龍のぼり (平野橋)

龍神村の子どもたちが作りました。独特の色使いから子どもたちの素晴らしい感性を感じます。鯉が滝をのぼり、龍になると言われています。龍神村では、辰年キャンペーンとして鯉のぼりの代わりに龍のぼりを空に泳がせました。

作成日時：令和6年8月21日(水)～8月22日(木)
 場所：龍神市民センター 大ホール
 設置期間：9/17(火)～10/11(金) 田んぼアート期間
 11/18(月)～11/24(日) 翔龍祭終了日まで



筒状に縫った布に、えんぴつで下描きを行いました。



アクリル絵具で着色です。乾けば水に溶けません。



地域の学生たちと一緒に植えた稲を使った田んぼアートと龍のぼり



○ご協力いただいた皆様

- ・咲楽小学校
- ・中山路小学校
- ・上山路小学校
- ・龍神小学校
- ・龍神中学校
- ・龍神教育事務所

- ・そばと農園 和わく
- ・(株)龍神マッシュ
- ・上御殿
- ・(有)チェンソーアート・ジャパン
- ・龍神村DragonMuseum
- ・龍神村森林組合
- ・香房ゆず夢

- ・翔龍祭実行委員会
- ・龍の里づくり委員会
- ・子供の居場所づくり事業
千葉浩志指導員、赤石克子指導員、青山正美指導員、
古久保則子指導員、谷口弘一指導員、溝端秀章指導員、
下山柚子指導員、坂井莊子指導員

○あとかき

私は今年度から龍神村に配属になり、この地に来ました。右も左も分からない状態で、4月から日々少しずつ龍神村のことを学んでいた折、タイミングよく当プロジェクトに携わることになりました。龍神村に住む子供たちが今回の学習をきっかけに地元の魅力を再発見し、目に見える形として残すことでより多くの人に知ってもらいたい、という想いからこの冊子を制作するに至りました。そして実際に子供たちの社会見学に同行し、私自身も龍神村について多くの「学び」を得ることが出来ました。しかし、これが全てではありません。食、歴史、文化等、知っていただきたい魅力はまだまだ沢山あります。タイトルにもある通り、これからも龍神村を楽しく学んでいただければと思います。

最後にこの冊子を読んでいただいた皆様、制作にご協力いただいた皆様、すべての方に感謝申し上げます。

龍神観光協会事務局 担当 吉田 光希

